

# 看護学同窓会便り No. 21

令和7年11月23日発行  
連絡先  
電話・FAX 095-819-7946  
同窓会事務局 中尾

## 会長あいさつ

会長 浦田 秀子

会員の皆様におかれましてはいかがお過ごしでしょうか。

今年も日常を脅かす出来事が続きました。自然災害の頻発、解決にすさまない紛争、それによる飢饉など厳しい現実には心穏やかにはいられません。そのような中で日夜、対象者に寄り添い、生命を守るために活動されている会員はじめ多くの看護職の皆様に心より感謝申し上げます。

今年は戦後80年にあたり、戦争の悲惨さを心に刻み、二度と繰り返さないという平和への祈りが捧げられました。長崎大学は世界で唯一原子爆弾の被害を受けた大学です。原爆復興80周年という節目の年に「長崎大学医学部原爆復興80周年記念事業」として、記念講演会、被災写真や資料の展示、「追憶」の英訳などが行われました。その事業資金および同窓会活動のために会員の皆様にご寄付をお願いしました。趣旨をご理解いただき、お陰様で目標額に達することができました。心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

今年も保健学科20回生を新入会員として迎えることができました。現在、保健学科の卒業生が全会員数に占める割合が最も多くなりました。ご活躍を祈念申し上げますとともに母校の発展のために同窓会活動にご支援・ご協力をお願い申し上げます。

会員の皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。



## 庶務報告

### 令和6年度庶務報告

#### 1. 令和5年度入会者 67名

令和6年度入会者 71名(修士課程5名含)

#### 2. 経過報告

1) 同窓会総会 令和6年11月23日

2) 理事会開催 3回

3) 慶弔

・原爆慰靈祭に浦田会長献花、生花寄贈

・保健学科卒業式に生花スタンド

4) 「原爆復興80周年記念事業への協力と看護学同窓会活動資金」への寄付協力

5) 看護学研究奨励賞運営

6) 同窓会だよりNo.20発行

## 同窓会員数

総数	4,286名
養成所	209名
厚生女学部	113名
看護学校	1,248名
医療短大	1,200名
保健学科	1,483名
修士課程	30名
準会員	3名

2025年9月17日現在

## 表彰を受けられた会員

瑞宝双光章 日本看護協会会長表彰  
小渕 美樹子 (看学36回生)



## ■ 原爆復興80周年ならびに寄付金のご報告

今年は戦後80年、原爆復興80周年という節目の年になります。世界の平和の実現のため「継承と行動」の年と位置付け、長崎大学では「原爆復興80周年記念事業」が開催されました。

記念講演会は7月14日(月)、出島メッセ長崎において市民約120名のほかオンラインで学生約400名が参加しました。本学名誉教授の朝長万左男先生から、原爆による放射線の影響などについての基調講演、次いで、日本原水爆被害者団体協議会代表委員の田中熙巳様の特別講演では、いつ核兵器が誤って使われるか分からぬため若い人たちにぜひ頑張って行動してほしいとの内容でした。その後、多文化社会学部教授の西田充先生および長崎新聞社取締役編集局長の山田貴己様によるパネリスト発表が行われました。今回は原爆被災と復興の足跡を永く後世に伝えていくということで「追憶」の英訳に注力されました。

長崎看護学同窓会では上記、記念事業および同窓会活動資金に関する寄付をお願いし、延べ145名の方から1,327,000円のご寄付をいただきました。記念事業に50万円、諸手数料を引き、残金は826,855円となりました。会員への寄付金依頼の諸経費および看護学同窓会活動費に補填させていただきます。

会員の皆様には趣旨にご賛同いただき、ご協力いただきましたことに心より感謝申し上げます。

(長崎看護学同窓会長 浦田 秀子)

### ★「原爆復興80周年」★

いつ核兵器が誤って使われるか分かりません。  
若い人たちにぜひ頑張って行動してほしいです。

(被団協代表 田中熙巳様の講演より)



### 新しく入会された方からのメッセージ

- 1: 働いていてうれしかったことを教えてください
- 2: 看護師になって、頑張っていることは何ですか
- 3: これからの夢を教えてください

長崎大学病院 川原 麻里花さん

1: 入職した当初から入院されていた患者さんに、「短い間で本当に成長されたと思います。これからも頑張ってください」と声をかけていただいたことです。患者さんが自分の成長を見ていてくださったことを実感し、大きな励みとなりました。

2: わからないことをそのままにせず、復習を通して理解を深めることです。忙しくて疲れている日でも、必ず一日の振り返りを行い、次に活かせるよう心がけています。

3: 今後は、患者さんの気持ちに寄り添いながら、安全で安心できる看護を提供できる看護師になりたいと考えています。一つひとつ丁寧に学びを積み重ね、信頼される存在を目指して努力していきます。自分自身の心と身体も大切にしながら、頑張っていきます。

九州大学病院小児科 長谷崎 亜里沙さん

1: 私が入職前から長期間、辛い治療を続けてこられた患者さんが、少しずつ回復され、笑顔で退院される姿を見送ることが出来たことがとても嬉しかったです。また、患者さんやご家族から名前を覚えて頂いたり、お手紙を頂いたりすることもあり、励みになります。

2: たくさんの疾患や治療方法、薬剤など分からぬことだけですが、少しずつ時間を作って学習に励んでいます。お休みの日は、家族と電話をしたり外出したりして、リフレッシュしています。

3: 日々たくさんの業務がありますが、一人一人の患者さんとご家族に丁寧に向き合い、関わっている先輩方を尊敬しています。先輩方のようになれるよう、一つ一つ出来ることや知識を積み重ね、成長していきたいと思います。

# 長崎大学病院 看護部長就任のご挨拶

長崎大学病院の看護部長に着任された宮原眞千世さんからご挨拶をいただきました。

長崎大学病院看護部長 宮原 真千世

2025年4月に長崎大学病院の看護部長および看護統括の副病院長を拝命いたしました。皆様、どうぞよろしくお願ひいたします。

私は、看護は保健学科の卒業ではありませんが、長崎大学医療技術短期大学部専攻科助産学特別専攻を卒業し、助産師の免許を取得しました。助産専攻科9回生になります。これまで、長崎大学病院で多くの素晴らしい先輩方や同僚とともに主に周産期分野で勤務してきました。2019年度の総合周産期母子医療センター開設の際は、看護師長として関わることができ貴重な経験となりました。

本院は今年度、病床の削減と再編成を行い、HCU(ハイケアユニット)を開設しました。今年は、国が2025年問題ととらえてきた年でもあります。明らかに患者像が高齢化し疾患も多様化、複雑化しています。その様な状況の中において、看護部長として看護職員が看護に専念できるように働きやすい職場づくりを行っていきたいと考えております。また、安全で質の高い看護を提供し、看護部のスローガンである、患者さんやそのご家族に「長崎大学病院でよかった」と思われる看護を実践して参りたいと思います。そして、同窓会の皆様とのつながりを大切にして互いに励まし合いながらともに歩んでいければ幸いです。

今後とも変わらぬご指導とご支援を賜りますようお願い申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。

## 神経難病患者さんとの関わりを通して感じること

医療法人春回会 長崎北病院 外来 白石 彩香（保健学科4回生）

私は、長崎大学を卒業後、老年看護学実習でお世話になった長崎北病院に就職しました。実習中にチーム医療を実感できたことが入職のきっかけとなりました。入職してから回復期リハビリ病棟、一般病棟を経験しましたが、家庭の事情で一度退職し、地域包括支援センターと特別養護老人ホームで合わせて5年間在宅看護を経験することとなりました。その後、出産、子育てを機に育児支援体制が整っている長崎北病院に再就職し、現在外来看護師として勤務しています。

長崎北病院は、脳神経内科を中心とする病院ですが、今年度、難病支援センターが立ち上りました。難病支援の活動として、診療、リハビリのほか、患者さんやご家族の交流の機会として「難病カフェ」の開催などを行なっています。外来では、徐々に症状が進行していく難病患者さんに寄り添いながら、生活の様子を尋ねたり、身体の動きを観察するなどして積極的に変化をキャッチすることを心がけています。気にかかった点を患者さんに声かけすると「実は困っていたんだよね」と話され、リハビリやMSW（メディカルソーシャルワーカー）に繋げることもあります。ALS（筋萎縮性側索硬化症）の患者さんの病名告知後のサポートなど難しい場面もありますが、最近ではパーキンソン病や認知症患者さんの新しい治療が始まっています。患者さん・ご家族と共に希望を持ちながら根気よく支えていけたらと思っています。今年は主任として初めての認定看護管理者研修に参加しました。今後も、専門性を高めつつ、「あの人の顔を見ればホッとする」と言われるような外来看護師になれるよう、日々精進して行きたいと思います。



★ホームページのご案内★ URL : <https://www.nagasaki-kango.org>

長崎看護学同窓会のホームページで皆さまへのお知らせやご報告、ニュースレターなどの情報発信を行っております。同窓会へのご連絡やお問い合わせにも活用ください。また、お近くに同窓会便りが届いていない同窓生がおられましたら、事務局への連絡をお伝え下さい。住所等に変更がある際もご連絡をお願いいたします。



## 物故者のお知らせ

お知らせいただいた方を掲載しております。

吉武 淳子	(旧姓 泊)	看学8回生	令和6年6月28
濱 フミヨ	(旧姓 松本)	養成所20回生	令和6年10月9日
高田 サダ	(旧姓 小川)	養成所21回生	令和4年12月10日
大村 アキエ		養成所17回生	令和4年
山本アキエ	(旧姓 深谷)	厚女1回生	令和4年10月4日
篠川 光加	(旧姓 久保)	看学16回生	令和4年12月
山口八千代	(旧姓 大久保)	厚女1回生	令和6年8月4日
今村 利子	(旧姓 斎藤)	看学2回生	令和6年7月
田中 文子	(旧姓 田中)	看学5回生	平成27年8月17日
衛藤 勢津子	(旧姓 和田)	養成所23回生	令和6年7月12日
出口はるみ	(旧姓 佐藤)	看学6回生	令和3年
足利 照子	(旧姓 馬場)	看学5回生	不明
大川美代子	(旧姓 乗松)	看学1回生	令和4年5月
中村 サワノ	(旧姓 吉田)	養成所18回生	不明
吉村 節子	(旧姓 深見)	看学20回生	令和6年11月
堀 政子	(旧姓 佐竹)	養成所23回生	令和6年11月13日
宮本 スミ	(旧姓 久保)	養成所14回生	令和5年3月10日
増田 安代		看学20回生	令和6年12月4日
川口 初枝	(旧姓 山田)	養成所19回生	令和7年3月7日
馬場 シカ		厚女3回生	令和2年
椿山 政子		養成所23回生	令和6年7月11日
清水 敬子	(旧姓 清水)	看学20回生	令和7年1月13日
江口 連子	(旧姓 松尾)	養成所20回生	令和7年3月4日
金澤 和子	(旧姓 峰)	厚女1回生	令和7年4月25日
福井ヤスエ	(旧姓 古賀)	看学6回生	令和7年5月12日
中村 悅子	(旧姓 松本)	看学2回生	不明
佐渡 不二代	(旧姓 一ツ石)	養成所20回生	令和7年8月8日

## 令和7年度看護学同窓会理事名簿

役職・氏名	卒業回
名誉会長 加藤 奈智子	看学2
会長 浦田 秀子	看学21
副会長 萩原 純子	看学28
勝野 久美子 (看護学研究奨励賞担当)	看学27
書記 小渕 美樹子 中尾 理恵子	看学36 医短3
会計 鳥越 純代 小橋川 智美	医短1 医短7
監査 田添 京子 伊東 由美子	看学22 看学28
学外理事 荒木 宣代 下田 澄江 久松 千鶴香 鈴木 尚子 福田 昌恵 堀川 新二 鈴木 由布子	看学10 看学20 看学26 看学30 看学34 医短15 保健6
学内理事 中村 千代美 後田 実知子 片山 哲也 八百山 美紀 森藤 香奈子 (看護学研究奨励賞担当) 張川 恭子 大山 祐介 森下 晓 海部 佳純	看学36 医短2 医短8 医短8 医短10 医短10 医短15 保健2 保健6

## 令和7年度看護学研究奨励賞活動報告

### 1. 本年度応募の研究課題

4件の応募がありました。研究の視点をもつ看護師を支援できることは、同窓会として大変誇らしく思います。

「術前スキンケアが全身麻酔下碎石位手術患者の経表皮水分蒸散量に与える影響」

「心疾患を有する外傷患者における入院中心不全増悪に関連する要因調査」

「急性期病院における退院支援看護師の役割認識および退院支援実践能力の実態調査」

「離島における遠隔診療を活用して介護老人保健施設に出向く診療看護師(NP)の関わり」

### 2. 令和7年度同窓会総会後に研究発表を行います。

①「看護師のレジリエンスに関するスコーピングレビュー」

森園 加奈(保健学科6・修士課程16)

②「手術部看護師を対象とした針刺し・切創事故後の報告に至るまでの体験について」

神代 竜育(修士課程18)

☆次年度も以下の日程で募集します。ご応募をお待ちしております。

募集期間:令和8年6月20日～7月20日

詳細については下記までお問い合わせ下さい。

問い合わせ先:森藤香奈子

長崎大学医学部保健学科(森藤研究室)

TEL/FAX 095-819-7981

E-mail: kanako-m@nagasaki-u.ac.jp

※できるだけメールでのお問い合わせにご協力ください。



編集後記:新しく入会されたおふたりの「丁寧に」との言葉が印象的でした。丁寧に学び、丁寧に接することはどちらも相手の事を考えたおもいだと感じます。看護職者として患者さんのことを考えることは、私も大事にしていきたいと思います。(保健2・森下暁)